



「空気を読む」の勘違い

外に出ると、桜が過ぎ、モクレンがきれいにワインカラーを見せています。やがてツツジが咲き誇り、そして紫陽花へと季節は移ります。それとともに、木々は淡い緑をましていき、初夏をむかえます。自然はウクライナ危機を知ってか知らずか、もくもくとその歩みを止めません。自然界に学ぶこと多し、ですね。

今月は、「空気を読む」ことについて、書かせて頂きます。近年、やたらとコミュニケーション能力のことが話題になりますが、少しうさん臭く感じてしまいます。コミュニケーション能力にたけていることは、「空気を読み」、その場の雰囲気に合わせて、出過ぎないことだと言っているように聞こえるからです。その場の「空気を読む」ことは、コミュニケーションなのでしょうか。

違うと思います。

コミュニケーションとは、他人に合わせて意見を言わないことではないはずです。これではコミュニケーションの本来の意味が失われます。違っていいのです。違いが判るからこそ、相手を理解できるのでしょう。「みんなちがって、みんないい。」(金子みすゞ「私と小鳥と鈴と」)

付度から見えてくるものは、真実ではありません。場の雰囲気に合わせてばかりいては、疲れてしまいます。

会議の席でも、はっきり自分の意見をいえること。周りを認め尊重し合うこと。そして、自分の意見に固執しないこと。これこそコミュニケーション能力ではないでしょうか。近年、様々な大学で「人間科学部」が新設されていますが、私もそこで学んでみたいと思うくらいです。

面接試験で「出る杭になることを期待する」と多くの試験官が言います。今や、企業は過度な協調性を期待していません。やっとなニッポンも「自分の意見」の主張に重きを置くようになってきました。でも、この「自分の意見」を主張するのは簡単ではありません。黙ってその場に従った方が楽だからです。限られた時間の中での「自分の意見」から、日頃の勉強と鍛錬、そこで、コミュニケーション能力が見えてきます。試験官が期待するのは、本来のコミュニケーション能力で頭角を現すことなのです。

「空気を読む」ことをコミュニケーションだと勘違いしていると、自然と同じく歩みを止めることのないこれからのニッポンに置いて行かれてしまいます。日々勉強を怠らず、コミュニケーション能力を鍛錬しつづけていきたいものです。

“事業承継”ってなに？ “M&A”ってなに？

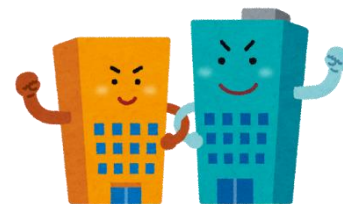
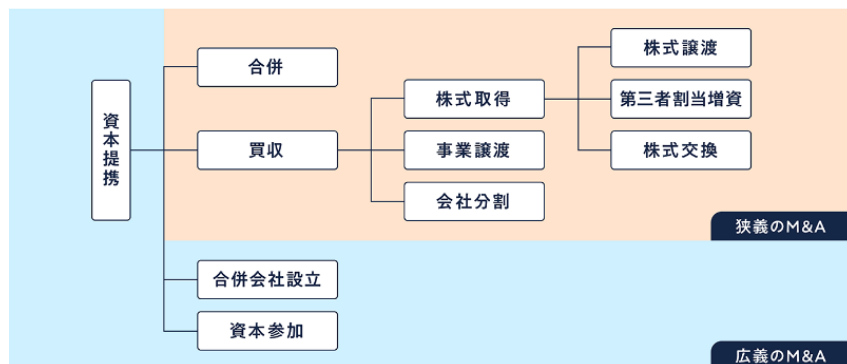
事業再編事業班より、今回は事業承継・M&Aを中心に簡単に説明いたします。

そもそも“事業承継”とか“M&A”ってなんでしょう？

事業承継とは：会社の経営権や理念・資産など、事業に関するものを次の経営者に引き継ぐこと

主な承継先は、①親族 ②役員・従業員 ③社外(M&A)

M&Aとは：2つの会社が一になったり(合併)、会社が他の会社を買ったり(買収)すること
(Mergers and Acquisitions)



シミュレーションしてみましょう

社長の気持ちになってフローチャートを進めてみてください。

(社長は、自分の会社の株を100%持っていることとします) ➡:YES / ↓:NO

スタート

後継者はいる ➡ 家族か ➡ 株を次の社長へ移すことを検討(贈与か相続で)
↓
家族以外の役員または従業員 ➡ 後継者に株を売ること検討

M&Aを検討 ➡ 他の会社と合併する…株を合併する会社へ売る
➡ 会社ごと売る…これも、株を売ります
➡ 事業譲渡…会社は残すけど、取引先・従業員・設備などの営業権を売る



やめる ➡ 解散(清算決了の登記をする) 残った資産はもらう 個人事業主を検討
➡ 休業(ただし申告は必要)
➡ 自己破産

さて、あなたの会社はどのような選択肢が残りましたか？

M&Aを選択したら…

ある社長は後継者がいないが、従業員は若くノウハウやニーズがあるのでM&Aで会社を売ることになりました。

さて、株の売却価格ってどうやって決まるのでしょうか？

1. 純資産価値に着目 所有している資産や負債をみます
2. 株価に着目 同業の会社の株価をみます
3. 収益力に着目 期待できる利益や増やせるお金をみます



まずはM&Aを行うと決めたら売り先を探します。(一緒に探しますのでお気軽にご相談ください！)

後は、上記の方法で計算した金額を基準に、買い手と値段交渉になります。

自信をもって売値を高くできるような自分の会社の魅力を見つけてみましょう！

(事業再編事業班)



モラロジーと私

宇久田 邦子

モラロジーを学び始めて、30 数年になります。いろんな場面で気付きを頂きました。

6 年前の話ですが大病しまして、右半身マヒが残りました。一人で起き上がることもできず、人生全てが終わってしまったような気がして、一歩も前に進めない気持ちになりました。

しかし、リハビリが始まり、一週間かけてやっと起き上がった時の喜びは、今でも忘れません。

同時に声の出し方・簡単な計算のリハビリも始まり、落ち込んでいられない毎日でしたが、そのおかげで声も計算も、出来るようになり、それから、30 分かけて着ていた服（Tシャツ）も何とか着られるようになりました。

1 ヶ月は、あっという間に過ぎ、リハビリをさらにやるために病院を変えました。ここから、4 ヶ月本格的なリハビリが始まりました。うれしかったことは、車椅子と理学療法士さんがついてくれたことです。人間は、一人では生きられないし、多くの人の手を借りて生きていることを頭で分かっているけど、いざ自分が当事者になるとわがままになっている自分がいることに気づきました。会社にも、顧問先さんにも急に入院になってしまい、その節は大変ご迷惑をおかけしました。紙面を借りて今更ですが、助けてくれた皆様、ありがとうございました。感謝でいっぱいです。

感謝



「慈悲寛大自己反省」この格言は、最高道徳実行の根本精神を述べたものです。

モラロジーでは、この仏教の慈悲を、孔子の仁やイエス・キリストの愛とその内容がほぼ同一であるとみなし、これらに一貫している本質的内容を「慈悲」と呼んでいます。

これは、利己心を取り去って、生きとし生ける物を慈しみ育てようとする純真無我の精神と実行を意味しています。

「寛大」とは、一切のものを受け入れはぐくむ、広くて大きな心のことです。

「自己反省」とは、たとえどのような事態に直面しても、自分の道徳的努力の足りないことを反省し、決して他人を責めることなく、ますます至誠心を奮い起こして人生を開拓していく精神作用を指します。（モラロジー研究所最高道徳の格言より）

長くなってしまいましたが、これからも格言と共に生き、何か難しい問題など起きた場合などの、指針になれば幸いです。何かしら、得るものがあります。



5 月カレンダー

10 日 源泉所得税・特徴住民税納付

26 日 消費税振替納税(※)

31 日 申告所得税振替納税(※)

※新型コロナウイルスによる個別延長や e-Tax の接続障害による個別延長で申告納税された方のみ対象です。振替日前までに振替対象口座の残高確認をお願いします。



ラジオ湘南

毎週日曜日 18 時～18 時 29 分 FM83.1

日曜日の夕暮れ時は、

『ざいつきげんの音楽鍋』でよいひと時を♪



職員 **瀬戸** の **これがオススメ!**

私たちが、ほとんど意識することはないけれども、毎日欠かさずに行なっている「呼吸」。

その呼吸に関する本のご紹介です。

著者は、詩人谷川俊太郎氏と“呼吸の先生”こと加藤俊朗氏の対談形式の共著となっていますが、内容のほとんどは加藤氏の呼吸に関する考えが述べられています。

内容の一部を紹介すると…

●「吸って吐く」のではなく「吐いて吸う」

→前者は胸です呼吸、後者は腹です呼吸。

●丹田（たんでん。おへその下9cmくらいの下腹部）を意識する

→丹田は体の中心。生命エネルギーが集まるところ。何事も中心・軸が据わると楽になる。

●呼吸をとおして地球、宇宙と一つになる

→足裏から地球の中心に向かって吐いて、足裏から地球エネルギーを吸う。

頭の前から宇宙に向かって吐いて、頭の前から宇宙エネルギーを吸う（もちろんイメージ）。

●宇宙の真理に準じるのが呼吸

→宇宙の真理とは言わば“循環の法則”。出したものしか入ってこない。

我（エゴ）を吐き出して、宇宙エネルギーを取り入れる。

普段の呼吸に少し意識を加えることで、なにやら不思議な感覚が得られそうです。

コロナ、地震、果ては戦争まで…生きていると困難なことが次から次へとやってきます。

そんな時、呼吸を通じて、あらためて今この世に生かされているのは奇跡的なことなんだな…と感じられたらと思います。



呼吸の本
加藤俊朗/谷川俊太郎 著
サンガ 出版

備えあれば憂いなし～最近の税務調査から～

問はず
がたり



- ・外注費は社員と働き方の違いは明確か(請負か、雇用か)
- ・鉄くず売却などの雑収入漏れはないか
- ・消費税の課非判定は適切か
- ・源泉税の徴収は適切か(滞納注意と現物給与)
- ・修繕費の中で固定資産計上の部分はないか
- ・棚卸は適切に処理されているか



法人調査でよく話題に上る案件です。日頃の処理につき、会計事務所の担当者ともよく連絡とりあい検討・注意しましょう。

所長・職員一同、みなさまからのご意見・ご感想をお待ちしております

発行・編集 宇久田進治税理士事務所/㈱経営センターグロウ

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町 1-1-2 クロスポイント湘南 6F

TEL 0466(36)0627 / FAX 0466(33)4892

さわやか土曜塾
しばらくお休みいたします。

